

平成 19 年 4 月 27 日

## 県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連の一部に改善の兆しが窺えるものの、生産活動や投資関連は一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠いており、全体では足踏みが続いている。

生産活動は、電子部品関連が回復しつつあるが、飲食料品は一進一退。個人消費関連は、百貨店・スーパー売上げや新車販売が盛り上がりを欠く。投資関連では、民間建築工事、住宅着工、公共工事ともに前年を下回った。一方、観光入り込み客数は3か月連続で前年を上回った。

### 【生産活動】 ... 一進一退

**電子部品**関連は、IC生産やPDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)が回復しつつある。カラーLCD(液晶ディスプレイ)は国内外での受注競争激化により伸び悩んでいる。

3月の**生コン**生産は、3か月ぶりに前年を下回った。

3月の**紙パルプ**生産は、前年比12.6%増となった。

**木材**関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

3月の**大島紬**生産反数は、前年比22.9%減となり、減反基調に変化は窺えない。

**焼酎**は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

**かつお節**関係は、3月に入り原料かつおの浜値が下がったものの、売値が低調で、生産も引き続き抑制基調にある。

### 【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場が弱持ち合いで推移する一方、子牛価格は依然高値で推移している。豚肉およびブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給量の増加から弱含んでいる。

### 【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

2月の百貨店売上げは、暖冬の影響やリニューアル工事による売場縮小の影響で衣料品の動きが鈍く、4.9%減と11か月連続で前年を下回った。一方、2月のスーパー売上げは、飲食料品と住関連品が伸び、1.4%増と6か月ぶりに前年を上回った。3月の大型小売店販売は百貨店の改装とスーパーの売上増をうけ、前年をやや上回る見込み。

3月の乗用車新車販売台数は、15.3%減と14か月連続で前年を下回った。車種別にみても、普通車、小型車ともに11.9%、16.9%の各減となった。また、軽自動車は1.9%減と5か月ぶりの前年割れとなったが、水準は高い。

### 【観光関連】 ... やや改善

3月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比3.4%増と3か月連続で前年を上回った。地区別にみると、指宿地区は引続き前年割れとなったものの、鹿児島地区、霧島地区は前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、前年を下回り、伸び悩んでいる。この間の主要観光施設入場者数は、一部を除きほぼ前年を上回る展開となった。

### 【投資関連】 ... 一進一退

3月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。一方、民間建築工事も棟数、床面積、工事費ともに前年割れとなっている。

2月の新設住宅着工戸数は、前年比21.9%減と2か月連続で前年を下回った。利用関係別では、持家が13.4%、貸家が20.2%、分譲が37.8%の各減となった。

3月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、5か月連続で前年を上回った。

**【貿易関連】 ... 輸出が2か月連続増加**

2月の**輸出額**は、半導体等電子部品とタイヤ・チューブが前年割れとなったものの、液晶表示板等の科学光学機器が前年を上回ったことから、全体では20.0%増となった。また、**輸入**は穀物及び同調整品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年割れとなったことから全体では21.6%減となった。

**【雇用情勢】 ... 改善一服**

2月の有効求人倍率は0.59倍と前月比0.02ポイント低下し、雇用情勢の改善には一服感がみられる。

**【金融情勢】 ... 堅調**

**資金需要**は、住宅ローンが堅調に推移している他、企業の設備資金にも底入れ感が窺える。

**【企業倒産】 ... 負債額が大幅増**

3月の**企業倒産**は、件数は8件と前年同月(11件)を下回ったものの、負債額は大型倒産の発生により38億7,400万円と前年同月(32億2,300万円)を上回った。

以上

**【本件に関するお問い合わせ】**

株鹿兒島地域経済研究所 ( 099-225-7491 )